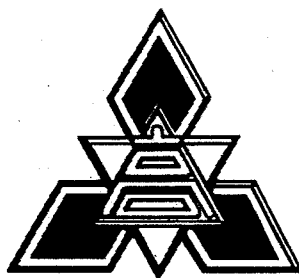


年間授業計画表

令和6年度 3年 商業科



SHINMINATO HIGH SCHOOL
富山県立新湊高等学校

3年商業科 年間授業計画表目次

ページ	教科名	科目名	単位数	コース	必修・選択の別
1	国語	論理国語	2	全	必修
2	国語	国語探究	2	全	選択
3	国語	言語活動と表現	2	全	必修
4	地理歴史	地理総合	2	全	必修
5	数学	数学A	2	全	必修
6	保健体育	体育	2	全	必修
7	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	全	必修
8	外国語	論理・表現Ⅰ	1	全	必修
9	外国語	英語演習A	1	グローバルマネジメント系	必修
10	外国語	英語演習B	2	グローバルマネジメント系	選択
11	家庭	家庭総合	2	全	必修
12	家庭	家族と保育・福祉	2	全	選択
13	商業	課題研究	3	全	必修
14	商業	総合実践	3	全	必修
15	商業	観光ビジネス	2	全	選択
16	商業	グローバル経済	2	グローバルマネジメント系	選択
17	商業	ビジネス法規	3	全	必修
19	商業	プログラミング	3	情報マネジメント系	選択
20	商業	ネットワーク管理	3	情報マネジメント系	選択
21	商業	財務分析スキル	2	全	選択
22	商業	ICTスキル	2	全	選択

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	国語	科目	論理国語	
学習教材	教科書 「新編 論理国語」東京書籍									
学習目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。									
単元と学習内容										
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「最初のペンギン」 ・「豊かさとは生物多様性」 ・「真の価値」を求めて ・「物語の外から」 ・「カフェの開店準備」 ・短い論文を書いて読み合おう 			<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。 ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。 ・現代における真の価値の探究について理解する。 ・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。 ・文章を読んで問いを持ち、自分の意見を短い論文にまとめる。 						
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「鏡としてのアンドロイド」 ・「ロボットが隣人になるとき」 ・的確に表現するために ・「言葉は『ものの名前』ではない」 ・「科学的『発見』とは」 ・資料を活用して論述しよう 			<ul style="list-style-type: none"> ・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。 ・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 ・資料を集めて論題を設定し、意見を整理して論述する。 						
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識における作者性と構造的性」 ・「ホンモノのおカネの作り方」 ・「未来のありか」 			<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。 ・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。 ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。 						
評価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝えようとしている。 					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ノート点検			㊦定期考査 ㊧授業プリント			㊦各種課題提出状況 ㊧話し合い活動への参加状況 ㊨授業プリントの記述内容			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	国語	科目	国語探究
学習教材	教科書 「文学国語」 数研出版								
学習目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
単元と学習内容									
1学期	・「鍋セット」 ・「無用の人」 ・「ナイン」 ・「三月の風」 ・「水仙」 ・「源氏物語」(与謝野晶子、谷崎潤一郎、角田光代 訳)	・誰かからの贈り物で、大切にしているものを提示して、三分程度のスピーチをする。 ・「私」の「父」を指す「無用の人」という言葉はどのような意味で用いられていると考えられるかを説明する。 ・正太郎くんはどのような人物だと考えられるか、本文の出来事を踏まえて説明する。 ・冒頭の英文と、最後の一文は、作品全体に対してどのような意味を持っているかを話し合う ・三つの現代語訳には、表現上どのような違いがあるか、原文を参照しつつ、比較の観点ごとに分けてまとめる。							
2学期	・「こころ」 ・「ひよこの眼」 ・「クリーム」 ・「舞姫」 ・問題演習	・Kの自殺を発見したときの「私」の心情と行動はどのようなものだったかをまとめる。 ・本文中から「手」の描写を抜き出し、それぞれの場面での「私」の心情を説明する。 ・「中心がいくつもあって、しかも外周を持たない円」とは、どのようなものかを話し合う。 ・森鷗外『普請中』を読み、『普請中』の渡辺参事官・「女」、『舞姫』の豊太郎・エリス、計四人の人物像を、比較しながらまとめる。							
3学期	・問題演習	・選択式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら正しい解答を選択する。 ・記述式の設問に対し、問題文の中に根拠を求めながら設問の要求にあった解答をつくることができる。							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準]	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ④小テスト ②ノート点検		⑦定期考査 ④授業プリント			⑦各種課題提出状況 ④話し合い活動への参加状況 ②授業プリントの記述内容			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	国語	科目	言語活動と表現	
学習教材	教科書 「国語表現」大修館書店									
学習目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけることができる。 (2) 国語で適切かつ効果的に表現する能力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりできる。 (3) 言語感覚を磨き、言葉を通して他者や社会に関わることができる。									
単元と学習内容										
1学期	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉と表記」 「整った文を書く」 「相手に応じた言葉遣い」 			<ul style="list-style-type: none"> 表記のきまりを意識しながら、漢字や慣用表現を正しく使う。 係り受けや、文末表現について理解する。 敬語、話し言葉と書き言葉について正しい知識を持ち、使い分けについて理解する。 長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 文脈による文のつながりを理解する。 経験から得たことや学んだことなど、自分の長所を考えるとともに、他者の意見を聞いて、自分のことを見つめ直す。 自分の長所を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。 適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 						
2学期	<ul style="list-style-type: none"> 「小論文とは何か」 「反論を想定して書く」 「文章を読み取って書く」 「統計資料を読み取って書く」 「発想を広げて書く」 			<ul style="list-style-type: none"> 意見を筋道立てて書き、原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 反論を想定して書く構成を考え、それに沿って小論文を書く。 資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 統計資料から読み取ったことを踏まえて論点を整理し、小論文を書く。 発想を広げるための方法を理解し、テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。 場面にふさわしい言葉遣いを考え、ロールプレイをする。 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 						
3学期	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉で遊ぶ」 「エッセイを書こう」 			<ul style="list-style-type: none"> さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味を持ち、語彙を広げる。 読者を意識し、ほかのエッセイを参考にしながら、構成、文体、表現などを意識してエッセイを書く。 相手を意識し、相手の気持ちに寄り添って、相談の回答を書く。 						
評価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 語彙の量を増やし、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨くことができる。 文や文章の効果的な組み立て方や、接続の仕方について理解を深めることができる。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて表現の仕方を工夫しながら、自分の考えが伝わるように話すことができる。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方を工夫して、説得力のある文章を書くことができる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書いたり、言葉で表現したりする活動に意欲的に取り組む。 授業から新たな疑問や課題を見つけることができる。 					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	⑦定期考査 ⑧小テスト			⑦定期考査 ⑧授業プリント			⑦各種課題提出状況 ⑧話し合い活動への参加状況 ⑨授業プリントの記述内容			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	地理歴史	科目	地理総合	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「高等学校 新地理総合」帝国書院 ・地図帳「新詳高等地図」帝国書院 ・資料集「新編地理資料2024」東京法令出版 									
学習目標	<p>(1) 地図の基礎からGISの活用方法を習得し、様々な地図から世界の結びつきを考察できる。</p> <p>(2) 世界各地の生活文化を通して、国際理解を深めることができる。地球的課題の解決に向けた国際協力のあり方を考察できる。</p> <p>(3) 災害のメカニズムから対策までを考察できる。地域調査の手法を習得できる。</p>									
単元と学習内容										
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界 ・生活文化の多様性 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活 			<p>緯度や時差の違いが私たちの生活にどのような影響を与えているか。</p> <p>地図や地図情報システムにはどのような役割や種類があるだろうか。また、私たちの生活にどのように役立っているのだろうか。</p> <p>国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。また、日本の位置と領域にはどのような特徴があるのだろうか。</p> <p>世界の国々は貿易、交通、通信、観光などの要素によってどのように結びついているのだろうか。</p> <p>人々は地形とどのように関わっているのだろうか。</p> <p>人々の生活は気候要素とどのように関わっているのだろうか。</p> <p>言語や宗教は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p>						
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 ・地球的課題と国際協力 			<p>歴史的背景は人々の生活文化にどのような影響を与えてきたか。</p> <p>産業の発展は人々の生活にどのような影響を与えてきたか。</p> <p>現代の地球的課題の背景には何があるだろうか。</p> <p>世界ではどのような地球環境問題が見られ、どんな取組が行われているだろうか。</p> <p>世界の資源やエネルギーの利用にはどのような課題があるだろうか。</p> <p>国や地域によってどのような人口問題があり、どんな対策が行われているだろうか。</p> <p>食料問題を解決するためにはどのような取組が必要だろうか。</p> <p>国や地域によってどんな都市・居住問題があるだろうか。</p>						
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と防災 ・生活圏の調査と地域の展望 			<p>日本の地形や気候にはどのような特徴があるだろうか。</p> <p>地震や津波はどのような被害をもたらすだろうか。</p> <p>火山はどのような恵みや災害をもたらすだろうか。</p> <p>気象災害にはどのような種類があり、どのような備えが必要だろうか。</p> <p>災害発生時の危機管理体制はどのように整備されているだろうか。</p>						
評価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組について理解できる。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。 				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる事象の意味や意義、特色を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察できる。 ・地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりできる。 				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚を深めようとしている。 					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ①副教材問題集解答 ②ノート点検 			<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ①授業プリント 			<ul style="list-style-type: none"> ⑦自作問題等のプレゼンテーション ①各種提出状況 ②討論への参加状況 			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業	単位	2	教科	数学	科目	数学A
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「最新数学A」数研出版 「パラレルノート 数学A 基本-標準 新課程 教科書傍用」数研出版 								
学習目標	<p>(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を身につける。</p> <p>(2) 物事を多面的に捉え、目的に応じて適切に変形する力、社会の事象などに関連付けて、論理的に考察し表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを活用していこうとする態度を養う。</p>								
単元と内容									
1 学期	第2章 図形と性質 三角形の性質 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の五心を理解する。 円(外接円・内接円)と三角形の関係を理解する。 チェバ・メネラウスの定理を理解する。 円周角の定理を理解し、図形の考え方に応用できる。 							
2 学期	空間図形 第3章 数学と人間の活動 約数と倍数	<ul style="list-style-type: none"> 円の接線の性質を利用し、接弦定理を理解する。 2つの円の位置関係と共通接線について理解する。 空間における直線・平面の位置関係について理解する。 多面体の性質を理解する。 約数と倍数、素数、素因数分解、最大公約数と最小公倍数、互いに素などの基本を身につける。 様々な場面で活用できる自然数の倍数の判別法を理解する。 整数の除法を理解した上で、余りに着目した整数の分類の考え方を理解する。 							
3 学期	1次不定方程式 記数法 座標の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 互除法の考え方を理解し、1次不定方程式の解法に応用する。 十進法の考え方を確認することにより、数の表記方法について理解する。特に小数やn進法を通じて、位取りの理解を深める。 座標の考え方を理解し、平面・空間の点の位置を表すことができる。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	各単元における基本的な概念や原理・法則を理解している。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	目的に応じて適切に式を変形することができる。 事象を的確に捉えて、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程を振り返って考察を深め、改善しようとしている。 問題解決のために、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	㊦ 定期考査 ㊦ 小テスト	㊦ 定期考査 ㊦ 発表 ㊦ 討論への参加状況	㊦ 各種課題提出状況 ㊦ 定期考査 ㊦ 討論への参加状況						

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業	単位	2	教科	保健体育	科目	体育
学習教材	・教科書 現代高等保健体育(大修館書店) ・体育簿(富山県体育保健学会) ・資料集 図説現代高等保健(大修館書店)								
学習目標	(1) 選択した運動種目の合理的、計画的な実践を通して、生徒一人一人が運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続する能力を養うことができる。また公正、協力、責任や健康・安全に留意する態度を身に付けることができる。 (2) 自己の能力・適性・興味等に応じて運動を行うとともに、課題を発見し、それらの解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるコミュニケーション能力の伸長を図ることができる。 (3) 個人の目標や課題が達成されるように練習を組み立て実行することができる。								
単元と学習内容									
1 学 期	体づくり運動	自己や仲間の体力に関するねらいを設定して、それに必要な運動を考えて構成する。また体力の状態に応じて、運動の種類や回数などを工夫して計画し、実生活に役立てる。							
	選択制球技① ~以下、同じ印から選択(☆○) ☆球技・ソフトボール ☆球技・バレーボール ☆球技・バスケットボール	種目選択アンケート→種目選択→各自目標設定 グループ編成→試しのゲーム→グループ目標設定 グループ目標達成に向けた話し合い、役割分担の決定 各グループ学習計画の決定→学習計画に従った活動 活動結果の評価→学習計画の見直し 各自の目標の評価							
	体育理論	豊かなスポーツライフの設計について理解し、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断すると共に、他者に伝える能力や、学習に主体的に取り組む態度を身に付ける。							
2 学 期	体づくり運動 陸上競技 長距離走	1学期と同じ 長距離走では目標タイムに応じたペースで走る能力や、ペースの変化に対応して走る能力を身に付ける。							
	選択制球技② ○バドミントン ○卓球 ○ソフトテニス	選択制球技①と同じ シングルのゲームを十分に行った後、ダブルスのゲームを行う。							
3 学 期	選択制球技② 種目は同じ	選択制球技①②と同じ							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の基準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	・技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などについて理解している。 ・基本的な技能を身に付けている。		○		○	○		
②	思考・判断・表現	・運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに考えたことを他者に伝えている。		○		○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	・各種運動に積極的に取り組もうとしている。 ・演技などの話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。		○		○	○		
評価方法	①		②		③				
	㊦学習カード ㊧観察 ㊨記録・実技テスト		㊦学習カード ㊧観察		㊦学習カード ㊧観察				

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ
学習教材	教科書「LANDMARK Fit English Communication Ⅱ」啓林館 「予習・完成ノート」「WORKBOOK」啓林館								
学習目標	(1) 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 (2) 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。また、聞き手に伝わるように音読できる。 (3) 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたり、簡潔に書いたりすることができる。								
単元と学習内容									
1 学期	Lesson 7 Letters from a Battlefield Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	・手紙の書き手である栗林と硫黄島について理解する。また、手紙や戦争などに関して会話、意見交換する。 ・持続可能な社会とはどのようなものか理解し、江戸時代やエコを考えた行動などについて会話する。							
2 学期	Lesson 9 AI and Our Future Lesson 10 Bhutan: A Happy Country	・AIとは何か理解し、意見交換をする。 ・ブータンがどのような国か理解し、幸福などに関して会話や意見交換をする。							
3 学期	Reading The Fall of Freddie the Leaf	・フレディの過ごした日々の様子を理解する。また、物語の結末が“The Beginning”で終わる意味について意見交換する。							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。 ・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	・情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨ワーク点検		㊦定期考査 ㊧パフォーマンステスト ㊨課題内容			㊦パフォーマンステスト ㊧課題の取組状況 ㊨ペアワークなどの参加状況			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	1	教科	外国語	科目	論理・表現 I
学習教材	教科書「Vision Quest English Logic and Expression I Standard」啓林館 「教科書準拠 Workbook」啓林館								
学習目標	(1) 「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動をとおして、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を身につける。 (2) 論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝えることができる。								
単元と内容									
1 学期	Lesson 7 I'm happy to have you with us. Lesson 8 What sport do you like playing?	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を使った文の理解を基に、誕生日会で繰り広げられる友人同士の会話のやり取りから、感情を表す表現を学ぶ。 動名詞を使った文の理解を基に、スポーツチームに誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 							
2 学期	Lesson 9 Digital media has come a long way. Lesson 10 That's why I decided to go back.	<ul style="list-style-type: none"> 分詞を使った文の理解を基に、メディアを通じたコミュニケーションについて意見を述べたり、情報を加えて詳しく説明する会話を学ぶ。 関係詞を使った文の理解を基に、日本特有の言葉や文化について紹介し、その違いについて述べる表現を学ぶ。 							
3 学期	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones? Lesson 12 I think it's a good idea.	<ul style="list-style-type: none"> 比較を使った文の理解を基に、フェアトレードについての会話から、物事を提案したり、相手の発言を賞賛する仕方を学ぶ。 仮定法を使った文の理解を基に、日本の社会問題について自分の意見を伝えたり、相手の助言を求める表現を学ぶ。 							
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。 身につけた知識を実際の場面で運用できる技能を身につけている。 	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話す内容や質問に対して、適切な相槌をうちながら、きちんと耳を傾けている。 自分の考えを積極的に伝えようとしている。 		○		○	○		
評価方法	①		②		③				
	㊦ 定期考査 ㊧ 小テスト ㊨ 提出物	㊦ 定期考査 ㊧ 授業プリント ㊨ パフォーマンステスト	㊦ 授業での発表 ㊧ 相互評価 ㊨ 提出物 ㊩ ペアワークなどの参加状況						

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科・グローバルマネジメント	単位	1	教科	外国語	科目	英語演習A
学習教材	「Reading Express Book2」(Z会)「英語コア構文99+α」(文英堂)								
学習目標	(1) 事物に関する紹介や説明、日記や物語などを聞いたり読んだりして、要点を掴み、設問の答えを正しく選ぶことができる。 (2) 基本的な構文を理解し、学んだ構文を使って英文を作ることができる。 (3) 音読・暗唱活動を通して、素早く正しく英語を発する力を伸ばすことができる。								
単元と学習内容									
1 学期	「Reading Express Book2」 1. 日記 2. 個人的興味 3. 物語 4. 個人的興味 5. 物語 6. ブログ 7. 個人的興味 8. 伝記 9. 説明文 10. 伝記 「英語コア構文99+α」 ・Part1 中学で学ぶ基本構文を使った英文を作れるようになる!	<ul style="list-style-type: none"> ・ Enjoy Cooking ・ Making Tomato Sauce in Jars ・ Fortune Teller ・ Sled Dog Race ・ Clones ・ Driving Across the Country ・ How I Became an IT Professional ・ Poorna Malavath ・ The History of the Marathon ・ Henry David Thoreau to 不定詞/動名詞、疑問視+to 不定詞、V+O+to 不定詞、A(名詞)+現在分詞[過去分詞/to 不定詞]、A(名詞)+who[which/that]+(S')+V' ~、as~ as.../比較級+than...、(the)+最上級+ in[of]...、that+S'+V' ~、疑問詞+S'+V' ~、if+S'+V' ~/when+S'+V' ~/because+S'+V' ~							
	「Reading Express Book2」 11. 伝記 12. 説明文 13. 説明文 14. 説明文 15. 伝記 16. 物語 17. 物語 18. グラフ 19. 広告 20. エッセイ 「英語コア構文99+α」 ・Part2 高校で学ぶ基本構文を使った英文を作れるようになる!	<ul style="list-style-type: none"> ・ Dr. Seuss ・ The Benefits of Exercise ・ Pomegranate ・ Mammoth ・ Marie Curie ・ On My Way to Mars ・ A Small White Cat ・ Media Habits ・ Brand New App ・ Rowing Race it 構文、主述関係、不定詞・動名詞、助動詞、関係詞、仮定法、否定、比較、接続詞 that、譲歩など							
	「Reading Express Book2」 21. 広告 22. 広告 23. 旅行ガイド 24. エッセイ 25. 旅行ガイド 「英語コア構文99+α」 ・Part3 発展的な構文を含んだ英文を作れるようになる!	<ul style="list-style-type: none"> ・ Pillow for a Better Night's Sleep ・ Rocky Mountain Hotel ・ Wangfujing ・ Having Both Cats and Dogs ・ Athens 無生物主語、分詞構文、不定詞・動名詞、助動詞、関係詞、仮定法、比較、接続詞							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的・場面・状況に応じた語彙・文法・文構造の使い方を理解している。 ・ これまでに学んだ語彙や文法を活用して、概要や要点を理解する技能を身に付けている。 	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 ・ 既習の語彙・文法・文構造を使いながら、与えられた課題について英文を作ることができる。 	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目安として提示された分量の英文を書いている。 ・ ほとんどメモに頼らず発表しようとしている。 		○		○	○		
評価方法	①		②		③				
	⑦定期考査 ④小テスト ⑨ワーク点検	⑦定期考査 ①課題内容 ⑨パフォーマンステスト	⑦パフォーマンステスト ①課題の取組状況 ⑨ペアワークなどの参加状況						

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科・グローバルマネジメント	単位	2	教科	外国語	科目	英語演習B
学習教材	Quest Revised Edition stage3 (エスト出版)								
学習目標	(1) 長文を読み、文章の全体像を捉えることができる。 (2) 基本的な文法事項を使い、簡単な英文を作ることができる。 (3) 会話や説明文を聞き、話の要点を捉えることができる。								
単元と学習内容									
1学期	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7	アメリカではどのように誕生日を祝うのかー文型 映画監督はなぜ両手で顔をおおったのかー時制 ロンドンのタクシー運転手はなぜ信頼できるのかー助動詞1 漁師が笑って立ち去ったのはどうしてかー助動詞2 奇妙な漂流物はどんな恩恵をもたらしたかー不定詞1 アメリカ文化の強みとはー不定詞2 アメリカでは最近どんな親たちが見られるかー動名詞							
2学期	Lesson8 Lesson9 Lesson10 Lesson11 Lesson12 Lesson13	「彼女」とは誰か。また、どんな生涯を送るのかー分詞1 世界を揺るがすほどの大きな衝撃音の正体は何かー分詞2 月はどこからやってきたのかー関係詞1 官僚はなぜ大臣の言葉に気分を害したのかー関係詞2 養蜂の流行はどんな問題を引き起こすのかー比較1 イギリスの気候の変化はどんなことをもたらすのかー比較2							
3学期	Lesson14 Lesson15	ある朝の停電がきっかけで、筆者はどんなことを考えたかー仮定法1 呼吸によってどんなことが体内で起こっているのかー仮定法2							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技能	・目的・場面・状況に応じた語彙・文法・文構造の使い方を理解している。 ・これまでに学んだ語彙や文法を活用して、概要や要点を理解する技能を身に付けている。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	・英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 ・既習の語彙・文法・文構造を使いながら、与えられた課題について英文を作ることができる。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	・目安として提示された分量の英文を書いている。 ・ほとんどメモに頼らず発表しようとしている。		○		○	○		
評価方法	①		②			③			
	㊦ 定期考査 ㊧ 小テスト ㊨ 提出物	㊦ 定期考査 ㊧ 授業プリント ㊨ パフォーマンステスト	㊦ 授業での発表 ㊧ 相互評価 ㊨ 提出物 ㊩ ペアワークなどの参加状況						

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	家庭	科目	家庭総合
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「家庭総合」実教出版 ・「家庭総合 学習ノート」実教出版 								
学習目標	<p>(1) 生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けることができる。【知識・技能】</p> <p>(2) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養うことができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養うことができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p>								
単元と学習内容									
1学期	「B 衣食住の生活の科学と文化」 第7章 衣生活をつくる			<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深める。 ・被服と人との関わりを踏まえながら、各ライフステージの衣生活の特徴について理解し、生涯を見通した衣生活の管理ができるようにする。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識や技能を学ぶ。 ・被服製作実習「エプロン・三角巾・巾着袋」 					
2学期	「B 衣食住の生活の科学と文化」 第8章 住生活をつくる 第6章 食生活をつくる			<ul style="list-style-type: none"> ・住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深める。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な知識や技能を身に付ける。 ・「魚のおろし方教室」で魚を三枚おろしにして刺身を作ったり、また、あらの利用法を学んだりする。 					
3学期	「A 人の一生と家族・家庭及び福祉」 第4章 高齢者とかかわる 第5章 社会とかかわる			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切な生活支援に関する知識や技能を身に付ける。また高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解を深める。 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。家庭と地域との関わりについて理解するとともに、高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深める。 					
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕			評価のフィードバック				
					1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。				○		○	○
②	思考・判断・表現	生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する等、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。				○		○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				○		○	○
評価方法	①			②			③		
	<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ⑧振り返りシート ⑨学習ノート点検 ⑩実習 			<ul style="list-style-type: none"> ⑦定期考査 ⑧ペアワーク ⑨学習ノート点検 ⑩実習 			<ul style="list-style-type: none"> ⑦振り返りシート ⑧ループリックによる相互評価 ⑨学習ノート点検 ⑩実習 		

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	家庭	科目	家族と保育・福祉	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「家庭総合」実教出版 ・「家庭総合 学習ノート」実教出版 									
学習目標	<p>(1) 家族と保育・福祉において科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けることができる。【知識・技能】</p> <p>(2) 自身の興味・関心や進路に沿った課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養うことができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養うことができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p>									
単元と学習内容										
1学期	<保育分野> ・現代の出産、育児 ・子どもとふれあう ・伝承遊び ・子どもの発達 ・児童福祉 <課題研究>			<ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生から育児に関わる諸問題について理解を深める。 ・子どもの発達と遊びについて理解し、伝承遊びについて考え、伝承折り紙の折り方を身に付ける。 ・保育園訪問をし、子どもたちとふれあい、子どもの発達を観察する。 ・今日の児童福祉の現状と諸問題について理解を深めて、家庭と地域での子育てについて考える。 ・自身の興味や関心、進路に沿った課題を見出し、夏季休業を利用して実践的な探究を行う。 						
2学期	<課題研究のまとめ> <福祉分野> ・高齢者の課題と福祉 ・障害者福祉 ・介護技術			<ul style="list-style-type: none"> ・レポート提出、模造紙にまとめて発表する。 ・高齢者の生活における諸問題と地域福祉について学ぶとともに、障害者福祉も含めた、地域における福祉の在り方を考える。 ・シーツ交換や体位変換、車椅子や三角巾法等の実習を通して、ボディメカニクスなど介護理論を学ぶ。 						
3学期	<製作> ・調理実習 ・被服実習			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や幼児に対応した料理や菓子を製作する。 ・刺繍や編み物などでおもちゃを製作する。 						
評価										
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕				評価のフィードバック				
						1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
①	知識・技能	家族と保育・福祉について、科学的な理解を図るとともに、それらに係る知識・技能を身に付けている。					○		○	○
②	思考・判断・表現	興味・関心のある課題を自ら設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する等、課題を解決する力を身に付けている。					○		○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。					○		○	○
評価方法	①			②			③			
	㊦定期考査 ㊧ワークシート ㊨実技テスト ㊩実習			㊦定期考査 ㊧ワークシート ㊨実習プリント ㊩課題研究レポート・発表			㊦課題研究レポート・発表 ㊧実習プリント ㊨実習 ㊩振り返りシート			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科	単位	3	教科	商業	科目	課題研究	
学習教材	なし									
学習目標	商業に関する課題を設定し、その課題解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。 課題の内容 (1)産業現場等における実習 (2)資格取得 (3)作品制作 (4)調査、研究、実験									
単元と学習内容										
1 学期	・学習意義、目的、評価 ・検定取得について			・学習の意義を知り、自らの課題(目的)、評価について理解する。 ・進路実現に向けて検定の目標課題を設定し、学習に取り組む。						
2 学期	・調査研究について			・市場の動向、消費者の行動、地域産業の振興に関する内容を主とした調査や研究に向けて、情報収集を行う。 ・中間報告書を作成し、まとめる。 ・調査研究対象の問題や疑問点を深め、情報収集を行う。 ・個人又はグループで調査研究内容をまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。						
3 学期	・個人又はグループ別まとめ ・研究発表会			・効果的な発表方法を理解し、実行する。 ・研究の成果についての効果的な発表を行う。						
評価										
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の規準]				評価のフィードバック				
						1期 中	1期 末	2期 中	2期 末	学年 末
①	知識・技術	・課題解決や目標達成に必要な知識を身に付けるとともに、その内容を理解している。課題解決や目標達成に必要な技能を身に付けるとともに、課題や目標の成果を適切に表現できる。				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	・課題解決や目標達成に必要な情報の収集、計画の設定・改善および学習活動の工夫に関する思考や判断ができる。				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	・自らの進路と関連させて課題および目標の設定をしようとしている。さらに、課題解決および目標達成に向けた方法を自ら工夫し、計画・実行・改善しようとする態度がみられる。				○	○	○	○	○
評価方法	①			②			③			
	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等			㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等			㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表											
学年	3	科・系	商業科	単位	3	教科	商業	科目	総合実践		
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・実教出版 総合実践「同時動業法を中心として」 ・実教出版 総合実践 演習ノート 										
学習目標	商業の各分野で学んだ基礎的・基本的な知識と技術を実践的、体験的な学習として総合的に習得させる。										
単元と学習内容											
1 学 期	1 総合実践の学習	総合実践とは今まで学んだ商業の各分野の知識・技術を実践的、体験的に学ぶものであることを理解できる。									
	2 ビジネスマナー	実践的、体験的に学ぶための決まりを理解できる。 社員一人一人が企業の代表であることに気づき、社会人としてのマナーについて理解できる。									
	3 ビジネス文書の作成	身だしなみ・言葉遣い等ビジネスの場での基本的なマナーを理解できる。 席次などのビジネス慣習や電話対応・名刺のやりとりなど相手に不快感を持たせないための対応の心得を理解できる。									
2 学 期	4 基本取引	ビジネス文書の種類、作成時の注意点について理解できる。 基本取引に必要な住所・企業名等を覚え帳簿組織・勘定科目を基本取引セットの参考にして確認する。教室を売り手・買い手の2班に分けそれぞれの相手を確認する。 基本取引について興味関心を持つことができる。									
	4 基本取引	納品書の意味を理解し作成することができる。相手(買い手)に納品書と出荷案内状を渡すことができる。実際は商品の移動があることを理解する。 振替伝票・売掛金元帳・商品有高帳への記帳が必要なことを理解すると共に基本取引演習セット(以下の演習ノート)に記帳することができる。 商品受領書の意味を理解し作成することができる。相手(売り手)に商品受領書と着荷案内状を渡すことができる。実際は商品の移動があることを理解する。 振替伝票・買掛金元帳・商品有高帳への記帳が必要なことを理解すると共に演習ノートに記帳することができる。 請求書の意味を理解し作成することができる。相手(買い手)に請求書を渡すことができる。									
	5 経営分析	見積依頼書で代金支払方法について決まっていることを理解できる。 小切手を作成することができる。チェックライターを使うことができる。 財務諸表を分析し企業の経営活動を細かく分析することの必要性を理解できる。 経営分析には収益性の分析と安全性の分析があることを理解しその計算をすることができる。 経営分析の各指標の意味と方法について理解することができる。									
評価											
評価の観点		到達度目標【「B」(おおむね満足できる)の規準]					評価のフィードバック				
							1期 中	1期 末	2期 中	2期 末	学年 末
①	知識・技術	・ビジネスの慣習、文書のやりとり、会計処理について理解し、記帳・計算等正しい方法身につけることができる					○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	・すでに学習した科目のどの内容を体験的・実践的に行っているのかを考えながら課題を進めるとともに、適切に表現することができる。					○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	・自ら主体的に行動し、与えられた課題にあきらめことなく取り組むことができる。自分のパートナーと協力して進めることができる。ビジネスに必要な態度を身に付ける					○	○	○	○	○
評 価 方 法	⑦定期考査		⑦定期考査			⑦定期考査					
	①副教材		①副教材			①副教材					
	⑦検定の成績		⑦検定の成績			⑦検定の成績					

令和6年(2024年)度 年間授業計画表										
学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	商業	科目	観光ビジネス	
学習教材		・観光ビジネス(7実教、商業738) ・観光ビジネス準拠問題集(実教出版)								
学習目標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。								
単元と学習内容										
1 学 期	第1章 観光ビジネスの概要 第2章 観光ビジネスの主な産業 第3章 観光ビジネスのマーケティング	・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要について学ぶ。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 ・観光ビジネスにおけるマーケティングに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善する。								
2 学 期	第4章 観光資源の発見と活用 第5章 地方自治体の観光政策	・観光資源の活用に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善する。 ・地方自治体の観光政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光政策を立案して実施し、評価・改善する。								
3 学 期	第6章 観光ビジネスと観光まちづくり	・観光による地域の活性化について学ぶ。観光による地域の活性化に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光による地域の活性化に関する計画を立案して実施し、評価・改善する。								
評 価										
評価の観点		到達度目標[「B」(おおむね満足できる)の規準]				評価のフィードバック				
						1期 中	1期 末	2期 中	2期 末	学年 末
①	知識・技術	・企業における事例など実際の観光ビジネスと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。				○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	・唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあつて、観光ビジネスをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、観光ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、観光ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。				○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、観光資源の効果的な活用、マーケティング、観光の振興策の考案と実施などに責任をもって取り組んでいる。				○	○	○	○	○
評 価 方 法	①		②			③				
	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等		㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等			㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等				

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科・グローバルマネジメント	単位	2	教科	商業	科目	グローバル経済
学習教材	・グローバル経済(7実教、商業734) ・グローバル経済 準拠問題集(実教出版)								
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、グローバル化する経済社会におけるビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。 (2)経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。								
単元と学習内容									
1 学期	第1章 グローバル化が進展する社会 第2章 経営のグローバル化	・グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現在の社会について理解を深める。金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について考える。地域経済統合の意義について学ぶ。グローバル化によってどのように経済発展に結びつくのかを学ぶ。グローバル化による問題点について考え、対応方法について検討する。 ・多国籍企業のグローバル経営について理解し、企業がグローバル化する理由について考える。企業が海外進出するにあたっての方法や難しさなどを学ぶ。							
2 学期	第3章 経済のグローバル化	・経済のグローバル化における人材(ヒト)の状況を外国人労働者や賃金の観点を含めて理解する。自由貿易と国際分業の観点をもとに、経済のグローバル化における財(モノ)のやり取りに関して、二国間協定や地域経済統合の意義を学ぶ。 ・金融の役割や形態、金融商品、金融機関等について学び、日本における金融の現状と外国為替に関する知識を学び、金融(カネ)のグローバル化について理解する。情報通信技術の発達と個人情報のあり方についての視点から、情報のグローバル化について理解する。							
3 学期	第4章 市場と経済	・需要と供給に着目した市場に関する理論について理解し、現実の社会における市場の役割と課題について学ぶ。							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技術	・企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	・経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、経済に関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら経済について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしている。	○	○	○	○	○		
評価方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨グループワーク等		⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨グループワーク等			⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨グループワーク等			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	商業科	単位	3	教科	商業	科目	ビジネス法規
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス法規(7実教、商業740) ・ビジネス法規 準拠問題集(実教出版) 								
学習目標	<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。</p> <p>(2) 法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) (3)ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>								
単元と学習内容									
1 学 期	第1章 法の概要 第2章 権利・義務と財産権 第3章 財産権の変動	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける法の役割 ビジネスを適切に行うための法の役割について扱う。また、ビジネスを円滑に行うことができるようにするため、経済のグローバル化、規制緩和、情報化など経済環境の変化に伴って法規の改正などが行われている現状について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。 ・法の体系と解釈・適用 法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について扱う。 ・権利・義務と財産権 権利と義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて扱う。 ・知的財産の種類 意匠、著作物、商標など知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて扱う。 ・知的財産の重要性 国際競争力の強化とビジネスを持続的に展開する際の知的財産の保護と活用の重要性及び知的財産を活用したビジネスの現状について扱う。また、知的財産権が侵害されたときの対抗手段について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。 							
2 学 期	第4章 企業活動と法規 第5章 企業責任と法規 第6章 紛争の解決と予防	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社の特徴と機関 株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について、法規と関連付けて扱う。 ・契約 雇用契約、売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、法規と関連付けて扱う。また、契約当事者の権利・義務関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関連付けて扱う。 ・資金調達と金融取引 株式と社債の発行、金融機関からの借入れ及び金融商品取引法の概要について扱う。また、資金の調達や運用と金融取引の現状・課題及び金融に関するセーフティネットについて扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。さらに、電子記録債権の概要及び電子資金移動の現状・課題について扱う。 ・組織再編と清算・再建 組織再編の形態について扱う。また、日本における企業の組織再編と清算・再建の現状・課題について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。 ・競争秩序の確保 競争秩序を確保する意義及びそのための企業活動の制限について、法規と関連付けて扱う。また、競争秩序の確保の現状・課題について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。 ・法令遵守と説明責任 法令遵守(コンプライアンス)と説明責任(アカウンタビリティ)の意義と重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。また、企業統治(コーポレート・ガバナンス)の意義と重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。 ・労働者の保護 							

	<p>労働三権の概要及び労働三法、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関係する法規の概要について扱う。また、労働時間、休日、休暇、就業規則及び労働者災害に関する規定と考え方について扱う。さらに、労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。</p> <p>・消費者の保護 消費者基本法、消費者契約法、不当景品類及び不当表示防止法、特定商取引法など消費者の保護に関係する法規の概要について扱う。また、企業活動を展開する際の消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護に関する課題について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。</p> <p>・情報の保護 個人情報保護法、不正アクセス禁止法、不正競争防止法など企業が扱う情報の保護に関係する法規の概要について扱う。また、ビジネスを展開する際の情報の保護の重要性及び日本における情報の保護に関する課題について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。</p> <p>・紛争の予防と解決 公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて扱う。また、企業における紛争の予防と解決に関する課題について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を取り入れる。さらに、国際的な紛争は国による法制度の違いが一因になっていることについて扱う。</p>
--	--

3 学 期	第7章 税と法規	<p>・税の種類と法人の納税義務 国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要、固定資産税など不動産に対する税の概要と税額決定の考え方及び内国法人と外国法人の納税義務について、法規と関連付けて扱う。</p> <p>・法人税の申告と納付 企業会計と税務会計との関係、税務調整、法人税の申告と納付の仕組み及び申告書の作成など手続の概要について、法規と関連付けて扱う。</p> <p>・消費税の申告と納付 消費税の仕組み、課税事業者と免税事業者の違い、課税対象、税額計算の考え方、消費税の申告・納付の仕組み及び申告書の作成など手続の概要について、法規と関連付けて扱う。</p>
-------------	----------	--

評 価

評価の観点	到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック				
		1期中	1期末	2期中	2期末	学年末
① 知識・技術	・ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解できるようにする。	○	○	○	○	○
② 思考・判断・表現	・法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	○	○	○	○	○
③ 主体的に学習に取り組む態度	・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	○	○	○	○	○
評価方法	①	②	③			
	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等	㊦定期考査 ㊧副教材 ㊨グループワーク等			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	商業科・情報マネジメント	単位	3	教科	商業	科目	プログラミング
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・最新プログラミング オブジェクト指向型言語(7実教、商業725) ・全商情報処理検定テキスト2級 プログラミング部門(実教出版) 								
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を育成することを目指す。								
単元と学習内容									
1 学 期	1章 情報システムとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・企業における情報システムの重要性について理解し、情報システムを構築して企業活動を改善している具体的な事例を参考に、これらのシステムに関連づけて分析し、考察するなどの学習活動を取り入れる。 ・アルゴリズムについて理解するとともに、効率のよいアルゴリズムを思考し適切に表現する技法を身に付ける。オブジェクト指向設計のための基本的な表記を理解する。 ・情報システムの開発に関する手法の種類や特徴、開発する情報システムの規模や内容などに応じて適切な手法を選択することの重要性及び要件定義、外部設計、内部設計など情報システムの開発に関する手順について考察する学習活動を取り入れる。 							
	2章 アルゴリズム								
	3章 プログラムと情報システムの開発								
2 学 期	4章 情報システムの開発演習	<ul style="list-style-type: none"> ・HTML 言語を用いて Web ページの作成を行う。テキストエディタで基本的なタグの学習し、タグを利用しての Web ページの作成技法について理解する。 ・CSS による「スタイリング作業」(見た目のデザイン)について視覚表現の技法について理解する。 ・Web ページのもととなる HTML に動きを付ける PHP の操作方法を理解する。 ・データベースにおいてデータに対する「追加」「検索」「抽出」の管理方法、データベースの活用方法として PHP と連携したシステムの構築について理解する。 ・スマートフォンやタブレット端末で動作するモバイルアプリケーションについて理解する。 ・オブジェクト指向の考え方を踏まえたデータの入出力、演算方法などについて理解するとともに、オブジェクト指向型言語を利用して基本的なプログラムの作成方法についての技術を身に付ける。 							
	5章 ハードウェアとソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・数値データの表現方法(10進数・2進数・16進数・基数変換)について理解する。また、コンピュータで使用される補助単位、誤差、論理演算、データ構造、ファイル形式、文字データの表現方法について理解する。 ・コンピュータの五大装置の構成について理解する。また、情報システムの構成や性能、障害対策について理解する。 ・各種ソフトウェアを適切に活用し、様々なプログラムやシステム、アプリケーションを作成、または発表する。 							
3 学 期	総合演習								
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技術	・プログラムと情報システムの開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	・経企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	・企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	○	○		
評価方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ①副教材 ⑨グループワーク等		⑦定期考査 ①副教材 ⑨グループワーク等			⑦定期考査 ①副教材 ⑨グループワーク等			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表

学年	3	科・系	商業科・情報マネジメント	単位	3	教科	商業	科目	ネットワーク管理
学習教材	・ネットワーク管理(7実教、商業751)								
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を育成することを目指す。								
単元と学習内容									
1 学期	1章 企業活動と情報通信ネットワーク 2章 情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークを活用してビジネスに関する情報やハードウェアなどの情報資産を共有することの重要性を理解する。企業活動と情報通信ネットワークの関わりにおいて、情報資産を共有し保護する適切な環境を提供する活動について理解する。 ・情報通信ネットワークに対する要求を分析し、ネットワークの構成、運用計画の策定など、情報通信ネットワークを設計する基礎的な方法について理解する。 							
2 学期	3章 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報資産に対する脅威やリスクをしっかりと理解し、情報セキュリティ管理の目的と重要性について理解する。また、情報セキュリティに対する各種法規や組織的対応について理解する。 ・情報セキュリティ啓発活動の重要性、情報セキュリティに対する意識を向上する方策、内部不正や人的ミスによる情報の漏えいを防止する方策など人的対策及び人的要因により情報セキュリティ上の問題が発生した際の対応策について、具体的な事例と関連付けて分析し、理解する。 							
3 学期	総合演習	情報セキュリティ管理に関する知識、技術などを基盤として、企業活動の改善に対する要求などに基づいた情報資産の保護について、具体的事例を取り上げた演習を行う。							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1期中	1期末	2期中	2期末	学年末		
①	知識・技術	・情報資産を共有し、保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	・情報資産を共有し、保護する環境の提供に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	・企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報資産を共有し、保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	○	○		
評価方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨グループワーク等		⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨グループワーク等			⑦定期考査 ⑧副教材 ⑨グループワーク等			

令和6年(2024年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	商業	科目	財務分析スキル
学習教材		・実教出版 日商簿記検定模擬試験問題集 2級商業簿記・工業簿記							
学習目標		(1) 株式会社社会計を中心に学習し、企業会計の諸問題について理解する。 (2) 工業製品を製造する企業の製品原価の計算・原価管理について理解する。							
単元と学習内容									
1 学期	商業簿記仕訳 連結会計 財務諸表の作成 工業簿記仕訳 各種原価計算			○日商簿記2級(商業簿記)重要論点のリース取引、外貨建取引、税効果会計、圧縮記帳、連結会計を理解する。 ○日商簿記2級(工業簿記)重要論点の個別原価計算、製造原価計算表、製造原価報告書、総合原価計算、直接原価計算、標準原価計算、工場会計の独立、費目別計算、CVP分析を理解する。					
2 学期	模擬問題演習 ネット試験対策			○模擬問題を繰り返し、70点以上を目指す。 ○ネット試験に向けたパソコン操作を理解する。					
3 学期	総合演習			○身に付けた知識・技能を財務分析、原価管理に活かす。					
評 価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕			評価のフィードバック				
					1 期 中	1 期 末	2 期 中	2 期 末	学 年 末
①	知識・技術	・企業会計、経営管理に関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、企業会計の基本的な仕組み及び基本構造について理解している。			○	○	○	○	○
②	思考・判断・表現	・各種計算や記帳方法、会計情報の活用などについて、なぜそのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			○	○	○	○	○
③	主体的に学習に取り組む態度	・企業会計、経営管理に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身に付ける。			○	○	○	○	○
評価 方法	⑦定期考査			⑦定期考査			⑦定期考査		
	①副教材			①副教材			①副教材		
	⑦検定の成績			⑦検定の成績			⑦検定の成績		

令和6年(2024年)度 年間授業計画表									
学年	3	科・系	商業科	単位	2	教科	商業	科目	ICTスキル
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・実教出版「全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集(1級)」 ・実教出版「全商情報処理検定模擬試験問題集(1級)」 								
学習目標	(1) WordやExcelを使って、パソコン操作の応用的な技術を習得する。 (2) 文字や画像などを、適切に正しく入力・作成できる。								
単元と学習内容									
1 学期	データ入力 WordやExcelの応用的な使用方法 文書作成 通信文書の作成 検定試験対策	文字入力ソフトを使い、文字入力の技能を向上させる。 様々な機能を使い、指示された通りの通信文書を作成できるようにする。 検定模擬問題を学習し、技量の向上を目指し定着を図る。							
2 学期	データ入力の向上 速度練習 文書作成の向上 検定試験対策 検定練習 速度・文書・筆記すべての対策	速く正確な文字入力の技能を高め、10分間で、1000字以上の入力を目指す。 全商ビジネス文書実務検定1級の文書作成を時間内に正確に作成できるようにする。							
3 学期	検定試験対策 検定練習 総合演習	全商情報処理検定1級に合格できるようにする。 身に付けた知識・技術を簿記・情報処理・ビジネス経済に活かす。							
評価									
評価の観点		到達度目標〔「B」(おおむね満足できる)の規準〕	評価のフィードバック						
			1 期 中	1 期 末	2 期 中	2 期 末	学 年 末		
①	知識・技術	・企業活動におけるビジネス文書の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	○	○	○	○	○		
②	思考・判断・表現	・企業活動におけるビジネス文書の活用に関する課題を発見し、見やすく解りやすい文書の作成・表現方法を身に付ける。	○	○	○	○	○		
③	主体的に学習に取り組む態度	・企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるビジネス文書の活用に関主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	○	○		
評価方法	㊦定期考査 ①副教材 ㊧検定の成績		㊦定期考査 ①副教材 ㊧検定の成績			㊦定期考査 ①副教材 ㊧検定の成績			